

クリーンハイクで大宣伝を！！

ごみ回収以外の楽しい企画を

近年、ハイキング道のゴミは少なくなった、との報告は当たり前になりましたが、それでも放置するとゴミがゴミを呼ぶかのようにとめどなく汚れてくるように思います。ただ、それにしてもやはりゴミは少ないのでゴミ以外の企画を呼びかけます。

ゴミ回収以外の活動で考えられること

① タンポポ調査

おそらく、山の中では関西タンポポが多いと思われませんが、登山口までの住宅地には西洋タンポポが多いと思います。

採取は1コース2株程度で構いません。ハイクがてら、「これは関西」「これは西洋」と確認しながら「なんで関西なの」「なんで西洋なの」と考えてみましょう。

ヒント：開発地にはまず西洋がやってくる。昔からの土地には関西が居座っています。それぞれの体質がそうさせているようです。

② 登山道の整備

泉南の山々は数年前の台風の影響が未だ癒えぬようです。むしろ枯れ木と化し、いつ倒れても不思議ではない木もありそうです。

処理を自治体に要請するなり、状況次第ではノコギリ処理もあってもいいのではないのでしょうか

③ ゴミ持ち帰りを大宣伝

宣伝と言っても拡声器でやるものではありません。ゴミ回収作業中であることが目立つように努めるだけでいいのです。他のハイカーとかツーリング族にそれとなく訴える。パトカーですら「ご苦労様」と挨拶することもあります。とにかく目立ちましょう。

④ 集会時には山筋ゴーゴーも

山頂での集会では、山筋ゴーゴーとかザイルワークとか、他のハイカーが興味を持ちそうなことはいかがでしょうか

クリーンハイク実施日までまだ日にちがあります。みなさんの提案をOWAFで交流しましょう。

自然保護委員長 澤村秋則